



中央アジアと日本

現代につづく

シルク
交流展

2013年 5/17(金) ～ 6/30(日)

9:00 ～ 20:00

会場：生活工房ギャラリー
(三軒茶屋・キャロットタワー3F)

会期中無休・入場無料

silk

カラフルで美しい絹織物

「アトラス」と現代のシルク事情

シルクロードは、その響きがもつロマンティックで古典的なイメージと、点在する世界遺産が誇る悠久の歴史が、現代にもお多くの人々を魅了してやみません。

中央アジアに位置する世界第3位の繭生産国、ウズベキスタン共和国では、シルクロードの伝統産業としての養蚕が綿々と続く一方で、生糸や織物を生産する産業自体はさほど活発ではないという現実も抱えています。この織物産業の復興の一助を担う日本のプロジェクトが今、ウズベキスタンのシルク産業のみならず、日本との交流をも活性化しつつあります。

本展では、ウズベキスタンが誇る伝統織物「アトラス」を取り上げながら、両国の交流を糸口にしたアトラスを使って現地の女性の手で作り出される小物やアクセサリーなどの品々に加え、日本人が作った衣服などを展示します。また、現地で日本語を学ぶ子どもたちの様子などを織り交ぜながら、「人とモノと技術」の交流が、中央アジアと日本を脈々とつなげる「現代のシルクロード」の様子を紹介します。



(©KANNOTEXTILE)

元氣なリジタンの子どもたち
NORIKO 学級にて
(©リジタンジャパンセンター)



ウズベキスタンのプロジェクトで
製したアトラス (©東京農工大学)



トークイベント

布の魅力、人のつながり

6/15(土)
13:30 ~ 17:00

会場：ワークショップルーム A
申込先着 50 名
参加費無料

ウズベキスタンとの交流の様子を、ゆかりの深い方々に、現地の布事情とアトラスを使った日本でのモノづくりのことや、NORIKO 学級とも交流したユーラシア大陸の自転車横断旅のお話などからうかがいます。

13:30 ウズベキスタンの絹織物アトラスの魅力とモノづくり

お話：菅野 陽 (KANNOTEXTILE)

14:30 蚕や綿花を育て、糸を紡ぎ、機を織る。それらの行程には実に多くの人

の手と、生活が存在しています。徐々に出来上がっていく作品の背景、そこに生きる人々。布を通して繋がる人と人との社会の中に、その大きな流れの中に介在していたい。そのような思いを中心にお話します。

14:45 NORIKO 学級と日本語学習

お話：大石 一郎

15:15 学級の最新情報と日本語弁論大会 3 位入賞者 (NORIKO 学級) のスピーチ「金の歯」を紹介し

NORIKO 学級とはウズベキスタンに仕事で赴任していた大崎重勝さんが、退職後の1999年に小さな日本語学校をつくり、妻の紀子さんの名前をつけました。教室は25人くらいが座れる小さなものですが、「子どもたちがいつでも集まれる、楽しい場所にしてほしい」という思いが今も引き継がれています。

15:30 僕たちの出会った NORIKO 学級

お話：加藤 功甫、田澤 儀高

16:30 「CoC connection of the children 1 本の糸で世界の子どもをつなぐ旅」

2 万キロにおよぶユーラシア大陸横断 自転車の旅。横浜市内の小学校の子どもたちが作ったビデオメッセージなどを届けるために訪問。1 週間の滞在の様子を中心に、数々の奇跡と出会いに彩られた旅の様子をお話します。

16:30 お楽しみ交流会

17:00

お申し込み

件名を「シルク交流イベント」として、(1) 氏名 (2) 年齢 (3) 電話番号を明記のうえ、メール info@setagaya-ldc.net または電話 03-5432-1543 にて生活工房まで。

中央アジアと日本

現代につづく

シルク 交流展

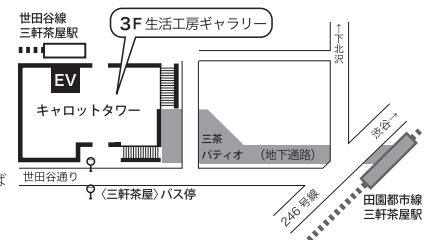


6/15(土) 6/16(日)
12:00 ~ 19:00

KANNOTEXTILE 販売会

会場：ワークショップルーム A
申し込み不要
(直接会場へお越し下さい)

東急田園都市線「三軒茶屋」下車徒歩 5 分
東急世田谷線「三軒茶屋」下車すぐ
東急バス・小田急バス「三軒茶屋」停留所そば



TEL 03-5432-1543

154-0004 世田谷区太子堂 4-1-1 キャロットタワー 3F

<http://www.setagaya-ldc.net>

主催：公益財団法人せたがや文化財団 生活工房
後援：世田谷区/世田谷区教育委員会

協力：KANNOTEXTILE、東京農工大学、リジタンジャパンセンター
デザイン：植竹保子

世田谷文化生活情報センター
生活工房
Lifestyle Design Center